

第25回 下水道管路管理主任技士
実地試験（Ⅰ. 成果報告書作成に関する実務）【解答用紙】

解答例

受験番号

[問1] 本管用調査記録表

上流マンホール					下流マンホール																																	
マンホール番号	マンホール種別	マンホール深	土被り	マンホール蓋種別	路線番号	管種	管径	マンホール間延長	マンホール番号	マンホール種別	マンホール深	土被り	マンホール蓋種別																									
25	1号マンホール	2.38 m	2.10 m	铸铁	22-1	ヒューム管	φ 250 mm	21.95 m	26	1号マンホール	3.02 m	2.51 m	铸铁																									
マンホール内点検					マンホール内点検																																	
異状なし					異状なし																																	
継手部	継手数	管口	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	管口									管本数																
	写真番号																					[11 本]																
	内容					浸入水 b					浸入水 b	浸入水 b										管不良本数 [7 本]																
	距離 (m)	0.45				7.43					15.44	17.46		21.50								取付け管数 [1 箇所]																
																							DVD番号															
本管部	本管数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11										[1 巻]																
	写真番号																					布設年度 [平成 4 年]																
	内容	円ク浸周ラ入方ツ水向ク b b			円ク浸周ラ入方ツ水向ク c c			管の破損 a														占用位置																
距離 (m)	0.73			6.70			13.43															1. 国道 2. 県道 3. 市町村道 4. 私道 5. その他 A. 車道 B. 歩道																
取付け管部	取付番号			T-1																																		
	写真番号																																					
	内容			右突樹取出し根入れ管 c b																		[該当番号 3 A]																
距離 (m)			4.81																																			
考察	(例) 継手部やクラックからの浸入水があるため止水対策が必要である。 本管部でのクラックや破損を修繕する必要がある。 取付け管の突出しを除去する必要がある。																																					
異状箇所 ※1	管の腐食		上下方向のたるみ			管の破損			管のクラック			管の継手ズレ			浸入水			取付け管の突出し			油脂の付着			樹木根侵入			モルタル付着			計						備考		
	A	B	C	A	B	C	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	A	B	C	a	b	c					
	継手部														3																						・本管7本目（距離：13.43）管の破損は、管壁表面の部分的なはがれ落ちであるが、判定基準において欠落はランクaとなるため「管の破損a」とした。 ・距離5.74～7.29の区間で堆積物による流下阻害あり。 ・T-1取付け管内に樹木根侵入あり	
	本管部						1				1		1				1		1																			
取付け管部																						1																
計						1				1		1				4		1						1														

【問2】 スパン全体の評価と緊急度の判定

正 答

受験番号	
------	--

※ 設問の本管用調査記録表は、問1の解答とは異なります

(1) スパン全体で評価した場合のランク付け

診断項目	評価のランク
管の腐食	B
上下方向のたるみ	異状なし

※ 上記の診断項目についての評価ランク（「A」「B」「C」「異状なし」）を記入すること。

(2) 管1本ごとに評価した場合のランク付け

管1本ごとの不良ランク	不良本数 (本)	本管本数 (本)	不良発生率 ^{※1} (%)	評価のランク ^{※2}
a	4	15	27	A
b	1		7	
c	3		20	

※1 不良発生率の算定結果は、率の小数点以下を四捨五入して単位止まりとする。

※2 不良発生率によるスパン全体での評価ランク（「A」「B」「C」「異状なし」）を記入すること。

(3) 緊急度の判定

・上記の(1)スパン全体での評価結果及び(2)管1本ごとの評価結果により、

本設問管きよの緊急度判定は、「緊急度： II 」である。